

石濱文庫所蔵書簡資料の web 公開に向けて

玄 幸 子

The list of letters in the Ishihama collection

GEN Yukiko

The letter materials in the Ishihama Bunko collection provide valuable information especially for understanding the oriental academia of Japan from the Taisho era to the Showa era. However, the disclosure of letter materials is accompanied by great difficulty due to the inclusion of personal information. Here, we introduced the publication status of various organizations that are pioneering the publication of letter materials, and created a sender list as a basic work for publishing digital materials in letters in the Ishihama collection.

キーワード：石濱文庫、書簡資料、東アジアデジタルアーカイブ

はじめに

大阪大学総合図書館石濱文庫内の書簡資料の調査を始めてすでに4年近くなる。この間、学内経費の援助を受けることができ、¹⁾ 業者による撮影も順調に行われ、デジタル化に向けて着実にデータの蓄積は進んでいる。今後いよいよ公開に向けて準備をする段階に入っているといえる。

書簡という資料の特殊性から、慎重を要する点に関して諸方から注意を受けているので、現在先んじて web 公開をしているいくつかのサイトを参照しながら、公開の方法を固めていく必要がある。そこで、2つのサイトを参照しながら検討してみる。

1. 先行する取り組み

- ① 一般財団法人 新村出記念財団 HP 内
新村出宛 書簡 発信者一覧

1) 内藤文庫および石濱文庫所蔵資料の調査と整理に関する共同研究（研究拠点形成支援経費）2020-2021、代表 玄幸子

https://s-chozan.main.jp/?page_id=542

② 徳富蘇峰記念館 HP

<http://www.soho-tokutomi.or.jp/tenji2020.html>

書簡検索画面

<http://soho-tokutomi.or.jp/db/jinbutsu/>

まず、「新村出宛 書簡 発信者一覧」であるが「例言」に「新村出博士宛に送付され、新村出記念財団の所蔵にかかる封書・葉書・絵葉書について、差出人の氏名を五十音順に配列し、通数を記した」とあるように、基本的には書簡の内容を公開するものではないことがわかる。但し、「寿岳家の文章・しづ・章子各氏と新村出博士との往復書簡は別に掲載」としてデジタル画像の公開を別の箇所では上げ、「佐佐木信綱の新村出宛書簡」（出版刊行済み）、「新村出博士の明治40～42（1907～09）年の欧州留学時代の絵葉書（新村出宛のもの、および新村出の留守宅宛のもの）」は国際日本文化研究センターに寄贈され同センターに保管、画像化済みであることを明記している。よって、全体を公開するものではないが、すでに公開、出版されているものに関しては詳細を知ることができる。

試みに「内藤」と検索をかけると「内藤 乾吉 2、内藤 湖南（虎次郎）4」と結果が示され、重山文庫にそれぞれ新村出に宛てた書簡が2通および4通所蔵されていることがわかる。「例言」は「2021年1月 新村出記念財団重山文庫 事務局」とあるので比較的新しく公開されたものであろう。

次に徳富蘇峰記念館のHPには左側最上部に「書簡検索」バーが設置されており、ここをクリックすると検索画面に移り、条件検索およびフリーワード検索が出来るようになっている。条件検索はさらに人物あるいは書簡の2方面からさらに条件を絞って検索が可能である。人物ならば、名前、ペンネーム、職業、出身、生年、没年など、書簡の方は、「蘇峰宛て」「蘇峰発信」「塩崎彦市宛て」の3種から選択でき、年代、形態、書様を指定することも出来る。

試みにフリーワード検索で「内藤湖南」と検索したところ、羽田亨、神田喜一郎、狩野直喜、稲葉岩吉、内藤湖南の5名分の蘇峰宛て書簡数が提示された。フリーワードが検索するのは各人物の詳細に上がっている語彙であるようだ。書簡の内容に関わる検索ではない。

徳富蘇峰宛書簡「明治・大正・昭和の三代にわたる政治家、軍人をはじめ、各界の要人・文化人・学者が蘇峰に宛てた書簡」を約4万6千通（差出人数・約1万2千人）所蔵しているということで「当館は【手紙の記念館】【明治・大正・昭和の手紙アーカイブ館】として、これら各方面からの書簡を閲覧に供しております。」とあるので、書簡の所在を索引で確認した上、申請すれば閲覧も可能であるようだ。

2. 石濱文庫所蔵の書簡公開のために

原資料の写真を横に校録文を対照できる形で web 公開をできれば最も理想的ではあるが、どうやら未だそこまでは進められていないようである。よって今後の進め方としては、まずは所蔵の確認ができる事が重要となつてこよう。

すでに調査を終えたクリアファイルに関してはすでに簡単なリストを作成し、大阪大学総合図書館へ提出済み²⁾であるが、現在差出人の詳細データを入れ込んだより詳しいリストを作成中である。この間、先に提出したリストの誤りも数点確認しており、何れ修正が必要になるう。

リスト作成の過程で困難である点は、著名な人物以外の氏名の読み方を特定する方法がないということである。現在、仮に読み仮名を振っているが、必ずしも正しいとは限らない点が多かしい。

さらに内容が多岐にわたり、すべてを対象とする必要があるのかという問題もある。しかしながら、沛亭外史（菅田沛亭）が別名本多季磨であり、「神戸の奇人」として地域では名の知られた人物であったことや「世界文學研究會三月會報及び書籍廣告（印刷物）」だけ封入されている資料は当時世間を騒がせた事件の関連資料の実物であることなどがわかると、いかにも 1 次資料としての価値を見出すことも出来るため、全資料を対照として進めていく方針は変更しないものとする。

書簡ではなく日記ではあるが、田中克己日記 (<https://shiki-cogito.net/tanaka/yakouun/tanakadiary.html>) の取り組みのように、将来的には全資料の公開を目標として今のところは資料整理とリスト作成に尽力していかざるを得ないのである。

紙面の都合から、詳細は省略し氏名のみ 50 音順に配列した差出人リストを次にまとめておく。

3. 差出人リスト

あ

青木文教、青木富太郎、青木正兒（瓢公）、青山麓郎、秋月胤継、浅井恵倫、浅井孝、浅井文一、浅尾章男、麻田克己（麻田洋服店）、浅野誠次（吉田書店）、浅野良三、浅野良之（満蒙研究会代表）、足利知夫（日本古典全集刊行會）、蘆田安一、安住伊三郎、安住悦太郎、安達龜造、安達隆義（産業經濟新聞社）、安部忠三、阿部吉雄、荒木賀光、有岡日出美、有馬頼吉（有馬研究所）、有山勝隆、安藤俊雄、安藤義邦、安藤義邦内、青旗報社

い

飯島正、飯田昭道、飯田正一、飯田ふく子、家村穰二、鑄方貞亮、生國魂神社、生田（小林）隆、

2) 高田時雄京都大学名誉教授との共編になるが、簡易版であり正式公刊はされていない。

池上富三郎、池澤原治郎、池島信平（文藝春秋社）、池田房吉、石井常次郎、石川末次郎（中支派遣軍歩兵伍長）、石川湧、石黒俊逸、石崎太郎、石田幹之助、石橋岩三、丹司定治（墨江小學校 PTA 会長）・石橋信太郎（墨江小學校長）、石濱一同（新潟スキー報国隊行軍登山會）、石濱昭子、石濱文卿、石濱郁子（鳥取松本方）、石濱掬三、石濱恭子、石浜敬次郎、石濱しづ、石濱信太郎、石濱恆夫、石濱（内）俊子、石濱俊造、石濱祐次郎、石濱（内）芳枝、石濱亮子、石本健、泉井久之助、泉亮一、磯野岩男、磯野惟秋、磯部喜一、井田五郎、板原瑛夫、市川安司（漢學會）、一柳安次郎、逸見廣（早大報國隊）、伊藤梅吉、伊藤爲松、伊藤竹醉、伊藤悌造、伊藤正藏（ポナベ島、コロニヤ出張所）、稻垣安伸（高知西高校）、稻葉正就、稻山健治、乾久作、井上覚造、井上治兵衛、井上隆治（丸石製薬）、井上隆治・村尾敏一、井上智勇（京大西洋史教室）、井上彰、井上吉次郎（新大阪新聞社）、井上治三郎（丸石製薬）、井上順三、井上富古郎、井上翠、井上康治、井ノ口泰淳、猪熊和子、今井正、今井亨、今西春秋、今村完道、岩井大慧（東洋文庫）、岩崎壽美代、岩代吉親、岩田秋之助・池田勇（大阪高等医学専門学校附属病院内科教室）、岩村忍、岩本裕

う

植杉英之助、上野市藏、植野珪、上野精一、植野武雄、植野徳太郎、上野文彦（奈良縣菟田野中學校）、上原益榮・輝雄、上原久、上道直夫、魚澄惣五郎、宇田敬子、宇田千代子、内田吟風、内田泉之助、内田利一、宇野章、宇野熊太郎、宇野惇、宇野哲人、梅崎諦道、梅園秀秋、梅原慧運、梅原修一、梅原末治、浦川勝清、浦川清一、浦司若郎（皆川四郎）、海野小次郎、ウラル・アルタイ學會假事務所（大阪外大内）

え

榎一雄、榎竝章、榎本金次郎、得平正藏

お

大石うめ、大石正一、大石泰藏、大城戸栄次郎、大城戸乙二郎、大城戸健造、大城戸宗重、大久保幸次、大久保恆次（朝日新聞大阪本社）、大久保莊太郎、大黒實（Ooguro Minoru）、大島五郎、大島伸太郎、大島久太郎、太田俊治、大谷昭世、大塚鐙、大塚貞三（大阪朝日）、大塚豊子、大槻脩、大藤時彦（民俗學研究所）、大西善四郎、大西晴隆、大野よし、大庭修、大橋（要）香陵、大濱幸平（丸石製薬）、大濱皓、大道弘雄、岡畏三郎、岡井慎吾、岡川榮藏、岡崎精郎、岡崎忠雄・小菅金造、小笠原宣秀、小方厚彦、岡田伊左衛門、岡田正之、岡本午一、（日本エスペラント學會）岡本好次、岡本尚一・拓、岡本尚一、岡本新次郎、小川尚義、小川環樹、沖森直三郎、荻生敬一、奥井良三（東野田高等小學校長）、小串賢、奥田竹三郎、奥田藤兵衛、奥野喜一、小倉正恆、長部和雄、鴛淵一、小島祐馬、尾高豊作、愛宕松男、織田きみ、尾立維孝、小田龍太、小野勇、小野玄妙・岩野眞雄、小野佐一、小野由藏、大阪外國語大學會計課 西田薫

大阪外国語大学満蒙研究会、外語満蒙研究会、大阪乗合自動車株式會社、大阪府立圖書館、大阪龍史會幹事 井上俊雄・松本有郷・和田琢也

か

貝田四郎兵衛、貝塚茂樹、加惠靜雄、梯俊夫、笠井信夫、鹿島秀麿、春日井眞也、片村長平、勝本忠兵衛、勝本鼎一、加藤秋市 (中央電氣株式會社)、加藤常賢、加藤盛一、加藤峯吉、金岡武 (岡山縣高梁新高高等學校長)、金森節子・田村房 (帝塚山學院)、金守多一、多氣田 (金谷) 治、金子二郎 (大阪外事専門學校)、金田弘夫、金戸守、兼弘正雄、狩野直喜、壁瀬滄雄 (醍醐別格本山理性院)、鎌田春雄、亀島晟、亀田次郎、龜田忠勇、龜田哲男、鴨志田三郎 (進省堂書店)、萱沼亨一 (三省堂)、川合孝太郎、川上温子、川上宇二郎、川上卯次郎、川上敬逸、川上 (正史) 天山 (妙心寺春光院)、川上雷軒、川上玲子、川喜多二郎、川口勇、河崎章夫、川崎直一、河田爲也、川西誠治、川村勝太郎、山本 (漢) 孝清、漢正印、神田喜一郎、神田信夫、上林理一、上林良一、關西學生同志隊、關西大学、三好萬次・久井忠雄、關西大學學部教務課、關西大學教員組合、關西大學校友會大阪支部、關西大學校友會大阪支部、關西大學專門部國漢科幹事、關西大學專門部國漢科第二學年一同、關西大學專門部第二部國漢科二年幹事、關西大學大學祭執行委員會、關西大學大學祭準備委員會、關西大学東西學術研究所封筒使用、關西大學文化會本部

き

岸上宏年・吉井次也 (京都帝國大學文學部史學研究室)、岸上宏平、岸本通夫、樹杉文彦、北岡君子、北岡豊吉、北野平一郎、北原一敏、北村芳郎・北野平一郎、喜多村桂一郎、北村學、木南卓一、小南卓一、木下寂善 (四天王寺太子鑽仰會)、木下徹郎 (志可ん香)、木下はるえ、木村朝子・錦戸津多枝、木村英一、木村亮子、橋本循、清瀬一郎、清瀬義三郎、金田一京助 (東大文学部言語学研究室)、金鐵會

く

日下寛、草薙正夫 (大阪女子高等醫學専門學校)、串本友三郎、楠正君、楠林龜次郎、楠山又助 (後村上天皇聖德奉讚會)、久保榮久、久保繁実、窪田豊、熊井由郎、能田忠亮 (東方文化研究所)、倉石武四郎、倉本一郎、栗林野羅生 (栗林儀三郎)、栗原道德、黒江一郎、黒川幸七、黒田源次、桑原五郎、桑原武夫

け

(兼愛館) 桑山盛治

こ

小井保、小出恭弘、小出重子、五弓武男、國粹同盟總裁衆議院議員笹川良一、國分敬治、小島武男、五條秀麿（洗心洞文庫）、五所平之助・大中豊、小網健三、小網たか、小網與八郎、小寺利一、五島忠久、小西儀助、小西てる、小林一三、小林喜一（ライオン齒磨社長）、小林太市郎、小林徳三（クラオン商會）、小林奈良松、小林義詮、駒井弘三（關西學院新聞班）、小牧昌業、國立國語研究所、神戸言語學會、古典保存會

さ

西乗寺（住職清澤学）、西條秀麿（洗心洞文庫）、濟田省吾、財津志満子、齋藤阿喜子、齋藤輝、齋藤護一、齋藤茂久、齋藤秀一、齋藤昌三・青山督太郎、佐伯仲藏、佐伯ふみ、坂井喚三、坂野そと、坂間棟治（大阪市長）、坂村養三、坂村養三・堀内清、坂本守正（富山房）、佐口透（立教学院 北亜細亞文化研究所）、佐久間じゅん子、櫻井善晃、櫻田譽、櫻部文鏡、佐々木典、佐々木徳潤、佐々木八十八、笹谷良造、佐藤三郎、佐野宣明、佐藤長（京都帝国大学大文学部東洋史）、左山貞雄（産業經濟新聞社）、左山貞雄（日本工業新聞社）、澤英三、澤田四郎作、澤田總清、澤田雅好、澤村榮治（關西大學經濟學部）、澤山園枝、堺市艶の家

し

潮田富貴藏（大阪大學南校主事）、塩（鹽）谷温、鹿内健藏（大阪成蹊学園學園長）、鹿田静七、篠崎武雄、篠田栗夫、柴田完（海軍少佐）、芝田實、澁澤元則、島田虔次、島田貞彦（史學研究會）、島村孝三郎（東亜考古學會）、島本一男、清水潔、下條新太郎（天理大學）、下田將義（大阪毎日新聞社）、下戸前繁松、下永憲次、志山頼道、庄野貞一、庄野貞一・藤井善澄（帝塚山學院）、庄野英二、庄野陽一、白石凡、白井繁太郎（大阪府立市岡中學校長）、白木和子、白木龍雄、新城英太郎、新谷武、新堂賢二（住吉區長）、進藤静太郎、神農英吉、新村出、新村秀一、新高野山遍照院総代、進省堂書店、少林寺

す

翠溪、末内照造、菅一夫、菅河利一、杉道助（住吉大社奉贊會會長）、杉本直治郎、鈴江萬太郎、鈴木虎雄、鈴木虎雄・羽田亨・那波利貞、鈴木治（天理大學圖書交換部）、鈴木俊、鈴木徳藏、鈴木文四郎（朝日新聞出版局）、須田嘉男、（諏訪学園）諏訪義讓

せ

瀬川健一郎（毎日新聞社）、泉壽東文書藏、静安學社世話人

そ

副島知一（住吉神社宮司）、曾我部静雄、園中尉（比島派遣軍）、創元社（加藤亮璋）

た

多井敏夫、平春生（龍谷大學）、高木茂、高瀬俊吉、高田真治・竹田復、鷹野千香、高野浩子、高橋（内）紀子、高橋梅窓、高橋昌孝、高橋盛孝、高畠寛我（佛教大學學部長）、田木繁、多氣田智、龍野健次郎（正因庵）、武内甲子雄、竹内藤吉、武内義雄、武岡實恵、高橋亨（朝鮮學會）、武岡充忠（日本赤十字社大阪支部住吉區委員長）、竹田復（日本中國學會）、武田フサ、武智俊子（旅館鴻の家）、田崎仁義、多田貞一、立石弥二郎・和子、立泉昭雄、辰馬悦藏、田中明親（関大講師）、田中栄一郎（天王寺中学校校長）、折日喜命（天下茶屋郵便局長）、田中克己、田中慶太郎（文求堂書店）、田中乾郎（文求堂書店）、田辺一郎、田邊裕也、玉樹香文堂、田村實造、丹野隆平（大阪外大アラビア語科4年）、瀧川博士頌壽記念論文刊行委員會、田宮猛雄博士退職記念會、大安文化貿易株式會社大阪出張所、大喜久、田結莊金治、大東亞文化講座の會、大東出版社、大雄閣書房、高島屋古本即賣會、玉造稅務署

ち

西藏大藏經研究会、財団法人 西藏大藏經研究会、中華文化研究所、中國回教總聯合會華北聯合總部、中國語學研究會、張先生葬儀委員

つ

津垣松之助、月洞讓、九十九豐勝（東洋民俗博物館長）、辻蒼石、津田勝五郎、津田勝五郎・扶佐子、津田淳、土谷耕三郎、都築通年雄、壺井慶一、坪井仙次郎、壺井まさの、壺井義正、津吉孝雄

て

出口常順、出口正巳、寺尾芳男、寺澤覺兵衛、寺田善見（住吉稅務署所得稅課）、天華洋行總本舗、帝塚山學院幼稚園

と

東條健二、東條政二（大日本飛行少年團總本部）、十倉太一、禿氏祐祥、利岡中和、登地佐太雄、戸田義邦、土橋久夫、富岡謙藏、富永宗四郎、富永牧太（天理図書館長）、外山軍治、外山高一、豐田穰、鳥居久靖、道教學會、東京大學文學部後援會、東方文化総委員會、東洋文化學會、東洋文化学会（平沼騏一郎・鈴木喜三郎・樺山資英）、同和工廠、富山房國史辭典編集部

な

内藤乾吉、内藤虎次郎、長尾甲、長尾正人、中尾將良、中川幸三、中川豊、中川利一、長嵩和雄、長澤規矩也、中澤桂一、中島學自、中島敬三、中島研山（龍雲院）、中嶋洋典（書道全集編集部 平凡社）、永田健、中谷義一郎、中津海博（龍谷大學新聞社）、中辻棋和・中辻藤三郎、

中辻卯一、中辻貴十郎、中辻貴十郎（内）、長沼直兄、中林忠夫、永松秀、中村猪市、中村慶吉、中村孝志、長村忠（岩波書店）、中村徳二郎（白揚社）、中村信雄、中村祐三、中村利三郎、仲基永吉、名取史男（太平火災海上保険）、那波利貞、南原繁（東京大學學寮建設促進會會長）、南里俊秀、南林龜次郎（南陽堂書房）、中野教授古稀記念會（高野山大學）、名古屋破塵閣書房

に

仁井田陸、西岡敏雄（帝塚山學院）、錦戸道夫、西嶋芳郎（新京特別市金輝路）、西田太一郎、西田龍雄、西田長左衛門、西田ヒラ、西ひさ、西房一郎、西宗茂二、西村治三郎、西村誠一、西村時彦（天囚）、西村時教・幸子、西村元佑、西山健一、新田種次郎（日本生命）、仁保龜松（關西大學學長）、日本オリエント学会（宮内庁書陵部三笠宮研究室内）、日本言語學會、日本宗教學會會計部

の

野口幸雄、信時潔、信時ミイ、信村潔、野間三郎（時論社）、野村證券株式會社

は

沛亭外史（誉田沛亭／本多季磨）、羽倉敬尚、橋川潤、橋川時雄、橋田慶藏、橋田有一、槁本循、橋本周藏（大阪朝日出版局）、長谷川皓一（雅樹）、長谷川貞三、泊園書院泊園會同窓會幹事、泊園書院有聲會 安達香雨、長谷川雅樹、畑繁徳、羽田野伯猷（東北大學法文學部）、服部敬一、服部健、服部四郎、羽田明、羽田亨、羽場尚夫、濱田貞子（倉敷航空機工業）、濱田穰、濱野知三郎、林巍（洲本市議會議長）、林憲一郎、林秀一、林少尉、林房雄・井上節子、原一郎、原榮之助、原田悟朗（博文堂）、原野榮二（弘文堂）

ひ

菱谷房松、日野田正英、平岡武夫、平澤東貫、平澤俊雄、平林治徳、平山喜久松、平山佐七郎、平山房松、廣岡延夫、弘川寺執事、廣瀬卯一、廣瀬捨三、廣瀬督

ふ

福田宏一、福島道雄、福田米吉、福本眞善、福隆阿、藤井一雄、藤井志津、藤井善助、藤枝晃、藤枝晃・咲子、藤澤元造、藤沢章次郎（黄坡）、藤澤恒夫、藤澤成太（内）、藤澤成太（朝日新聞大阪本社通信部）、藤塚誠二（懷徳堂記念會）、藤塚鄰、藤野恵（日本諸額振興委員會委員長）、藤野立然、藤本是、藤本寅吉、藤原式信、藤原賢太郎、藤原爲次、藤原幸雄、藤原利一郎、船田中、船田讓、古川八太夫（大阪府立市岡中學校）、麓保孝（文部省大学学術局視学官）、古野清人（民族研究所）、兵連定四郎、佛教專門學校、風俗研究會、文奎堂書莊（北平隆福寺）

へ

北京來熏閣書莊

ほ

保仙裕博、北条正韶、星野信雄、穂積文雄、細川信吾、細原清太郎、堀内春甫、堀江哲男、堀藤藤晶、堀清 (三春會)、堀正人、本郷恭世、本田成之、奉天圖書館 (衛藤利夫)

ま

前川彰子、前川多か、前川輝彦、前川正義、牧野謙次郎、松野始太郎、松本洪、牧野巽、牧村史陽、真市右衛門、真信之助(米市金物商店)、増井しず、増井正治、増田五良、榊田武雄、榊田照子、升田誠一 (丸善大阪支店)、松田高一、松野アサエ、松原入郎、松村太郎 (字紙簍社) 増山ユキ、俣野玄次郎、松井正、松木泉、松本一郎、松本正威、松本信廣、松本正嗣・松本彌榮子 (実娘)、松本清丸石製薬合名會社、松本彌榮子、すすむ、的場二郎、的場信太郎、丸岡荒太郎、丸山正三郎、萬谷幸洋、丸善大阪支店、満鉄奉天図書館、満蒙文化協會 (大連)

み

ミカミ・アキラ (三上章)、三浦喜光、三木治、三木榮、三崎要一、三崎雪子、三品彰英、水島義雄、水谷真成、水田紀久、三上諦聽、水原謂江、三隅貞吉、三田村泰助、宮木亮康、宮崎勇、宮島綱男、宮武正道、宮武タズエ、宮武テラス、宮原克己、宮本正尊、宮本英脩、宮本繁、宮本正太郎・周子、見永幸一、南要、三原研田、美夫君志會 (名古屋)

む

村尾力、村岡典嗣 (東北帝國大學附屬圖書館長)、村上泰明 (大阪府立港高校)、村田忠兵衛

も

森一郎、森川太郎、森川智徳 (龍谷大学内)、森静夫 (岩波書店)、森田己之助、森田瑛一、森田甲子三、森田啓治、森田瀧治、森田仁三郎、森久兵衛、守本文生 (帝塚山學院)、守屋長 (天理語學専門學校)、森安太郎、諸橋徹次

や

矢崎源九郎、安田口良、安福弥太郎、柳辰五郎、山口巖、藪下周子、矢部良策 (創元社)、山岸光雄、山口格太郎、山口藏男、山口察常、山口スエ、山口益、山口誓子 (内)、山口ちよ、山口義男、山崎忠 (天理大學宗教文化研究所)、山下義導、山田有時、山田憲太郎、山田祥一、山田新一郎、山谷角治 (北支派遣山下部隊氣付岡崎部隊川村隊)、山田房一、山田正紀、山中永之佑、山中勝太郎、山根徳太郎、山本義導、山本敬太郎(山本書店)、山本幸、山本植信、山本

茂、山盛灌雄（醍醐寺）、山脇武子、山脇毅、安田信託大阪支店

よ

横地完藏、横地祥原、横山文弘、吉井榮治（朝日新聞）、吉井次也・岸上宏平、吉岡義豊、吉川延太郎、吉川貫二、吉川幸次郎、吉田祥三郎、吉田眞善、吉田清治、吉田経雄（懐徳堂）、吉田長祥、吉田保一、吉田彌兵衛、芳中コウ、吉町義雄、善峯憲雄、芳村修基、吉村直方、米田寅之助

り

龍谷大學

わ

鷺尾正久、鷺野甚之助、和田清、渡邊明正（国際文化振興會英文日本百科辭彙編纂所）、渡邊花仙、渡邊格司、渡邊幸三、渡部薫太郎、綿谷増吉、和田有司（創元社）

A～W（西洋人）

ARTHUR PROBSTHAIN、アレクセーエフ（阿理克）、D. W. Fuchs、E. Zach、エリセーエフ（英利世夫）、エン・ピ・マトエイエフ、ニコライ・ピ・マツエエフ、ネフスキー、オレスト・プレトネル、W. Blissett、ウォルフ・ヘーニッシュ

中国人

卞民岩、陳寅恪、羅君美（福成）、羅繼祖、王静如、楊杏庭、張源祥、趙子安

以 上